

第3回公開講演会

「新規格食品安全マネジメントシステム ISO22000 への取組み」講演会報告

2004年10月5日午後、講演会はあいにくのお天気でしたが、100名近いお客様をお迎えして、第3回公開講演会が行われました。

テーマは、来年の秋に発効すると言われている ISO22000 食品安全マネジメントシステムについてでした。

伊藤蓮太郎事務局長の司会で始まり、林裕造理事長の開会挨拶、三原翠理事の座長で進行しました。最初の講演者は日本食品分析センターの荒木恵美子さんで、「ISO22000 の成立の敬意と今後の展望」の題で、ISO の検討会に日本代表で出ておられる経験から、食品安全への ISO の取組みの経緯をお話頂きました。

お二人目はオービス環境マネジメント研究所の向井征二さんで、「ISO22000 の内容とその実際」の題で、長年の ISO や HACCP のコンサルタントを通じての食品会社の取組むべき基本的姿勢・考え方特にリスクマネジメントについてお話されました。

三人目は当初からの当会会員でもある渡邊清孝さんで、「現場から見た ISO22000」の題で、食品衛生監視員で長年現場を見てこられた経験に基づいての ISO22000 の具体的な解釈と構築の方法についてのお話でした。

要旨集は事務局で1部1000円で販売しております。すべてのスライドが掲載されていて、これだけでも ISO22000 の理解に大いに役立つと思われます。

開催日時 2004年10月05日

講演内容

「ISO22000 の成立の経緯と今後の展望」

(財)日本食品分析センター 荒木恵美子

「ISO22000 の内容とその実際」

オービス環境マネジメント研究所 向井征二

「現場から見た ISO22000」

(有)フードセイフティ・コンサルティング 渡邊清孝

■要旨集(1000円)発売中